

身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境を保全・回復・創成する

NPO 法人すいた市民環境会議

2008年4月 第56号

吹田の郷

発行/NPO 法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 ホームページ<http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106 中村小夜子 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 編集/会報委員会
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便振込口座番号/00980-3-28845



目次

1. 表紙
2. 会長コラム 表紙の大木説明
3. 東部拠点まちづくり区域を歩く
4. 紫金山公園計画に関する要望書と回答
5. 同上
6. 大木調査 第12報
7. 同上
8. 「さんさんソーラー」点灯式・学習会
9. みどりのカーテン
10. 散策会報告「南千里コース」
11. 古江台中学校その後
12. 総会案内ほか

コラム 春夏秋冬

会長 小田忠文

すいた市民環境会議は吹田自然観察会と西山田ヒメボタルの会との三者で「吹田ヒメボタルの会」を結成し、98年5月から毎年、高野台と山田西との間にある千里第4緑地でヒメボタルの発光数調査をしている。▲発光数調査はルートセンサス法という、設定されたルートをゆっくり歩きながら数人の調査員が発光数をカウントする方法でおこなっている。昨年までの10年間で4万近くの発光数を記録した。▲吹田ヒメボタルの会の活動は単にヒメボタルの発光数の計測だけではなく、市内の公民館や小中学校での啓発活動を通じ、地域の人々や吹田市職員とともに生息地の清掃活動をしたり、ヒメボタルの幼虫がエサとしている貝（オカチョウジガイなど）を取り巻く微小生物の調査もしている。三年前には吹田市の許可を得て現地に百葉箱を設置して気温と地中温度を一時間ごとに自動計測もしている。▲さらに西日本でヒメボタルが光る地域の団体が毎年開催するヒメボタルサミッ

トにも参加し情報交換や親睦を図っている。それらの団体間の意思疎通を図るためのメーリングリストの管理はすいた市民環境会議が行なっている。▲このようにして吹田ヒメボタルの会はヒメボタルを取り巻く人文科学的な活動をしてきた。その結果、吹田のヒメボタルは西日本の中では独自の遺伝子を持つ独立した特有な種(しゅ)であることがわかってきた。▲もうご存知かと思うが、ヒメボタルのメスには飛ぶための羽がない。そのため生息地が開発されると逃げることができず、多くの場所でヒメボタルは絶滅してしまった。今年も吹田市内でヒメボタルが光を放っている千里第4緑地は極めて貴重な場所なのである。▲この貴重な自然環境をどのように守り、次世代に伝えるのかという方法を考える場の設定や、ヒメボタルを吹田の天然記念物として市民の関心を高めることなどを行政に提案しているが、行政の方針がまだ見えない。吹田市はヒメボタルの生息地の生態系を保全するシステムを示す時期であると考えている。

<表紙の大木>

吹田の大木シリーズ(8)

岡辻学園山手幼稚園のエノキ

山手町の岡辻学園山手幼稚園には、エノキの大木が4本あります。内3本は97年調査でも大木として報告された木で、順調に生育しています。阪急豊津駅から吹田市民病院へ抜ける道が山手幼稚園に近づくと、JR所有の空き地の西側に並んでいるエノキの大木が見え、春は新緑、夏は深緑、秋は黄葉、冬は澄み切った青空に広がる枝ぶりなど、四季折々に楽しめます。

(表紙画：安芸早穂子 文：平 軍二)

東部拠点まちづくり区域を歩く

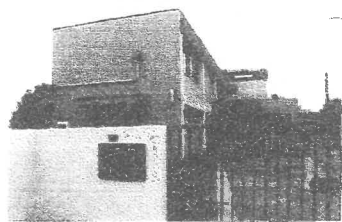
吹田操車場跡地に沿って～メロード吹田～正雀川～正雀下水処理場～府道・大阪高槻京都線
 まちなみ委員 松岡要三

市報すいた3月1日号で「まちづくりアイデア」を募集、コンペを実施することが紹介されています。吹田市が目指すのは「環境世界都市吹田」「緑と水につつまれた健康・教育創成拠点の創出」です。「全体構想」では「北大阪のみならず広く関西圏を視野に入れた機能導入を検討する」とあります。「机上の空論」にならないよう、10年先の変化を予測することと、現状確認も重要です。2月初旬、想いを巡らせながら、自分の目で確かめつつ、まちなみ委員7名で小雨の中を歩いてみました。

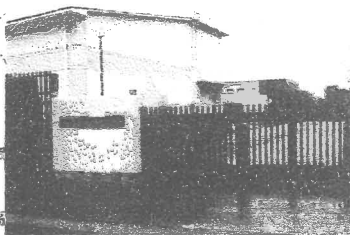
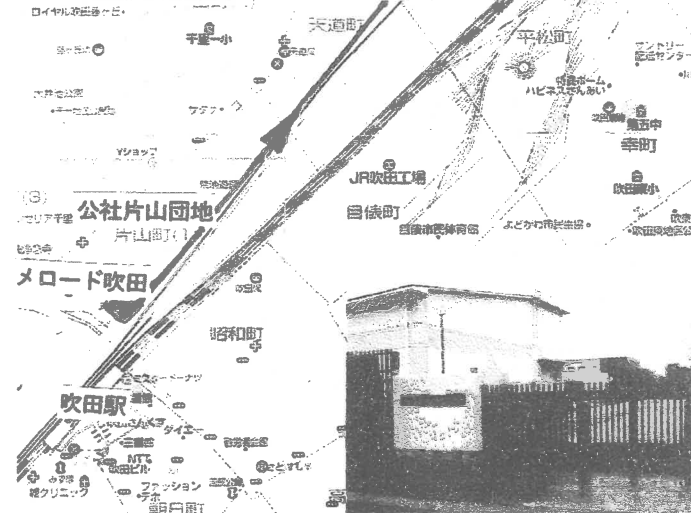
まず、メロード吹田の最上階より吹田操車場跡地とその周辺を確認し、想いを巡らせて地上に降り立ち、跡地に隣接する路を北上しました。

メロード周辺は交通至便、集合住宅建築が進みつつあります。高層の公社片山住宅もあります。片山町1丁目から天道町を経て岸部1丁目へ。ここには府立産業技術総合研究所皮革試験所があります。設立はS47年、所長以下研究員やスタッフ7名の小さな試験所です。この将来はどうなるのでしょうか。さらに進むと墓地があり、観音と地藏が対になった六観音・六地藏があります。

高層の市営住宅、岸部第一小学校を経て豊中岸部線に出る途中二つの表示板「操車場遺跡(その5)発掘調査に伴う工事」と「大規模開発事業の構想お知らせ・吹田貨物ターミナル駅(仮称)新設」がありました。



府立皮革試験場



正雀下水処理場



操車場遺跡(その5)発掘調査の工事費請負額は何んと118,650,000円にビックリ。

豊中岸部線の北側は旧中西家や大光寺がある古いまちなみの旧岸部東村です。東部拠点まちづくりでどう変わるのでしょうか。

正雀川の北側は摂津市域ですが、吹田市の正雀下水処理場と摂津市クリーンセンターがあります。将来廃止が予定されていて今回のまちづくりコンペの対象地域となっています。その面積は約4.5haあり、吹田市操車場跡地基本構想にある緑のふれあい交流創成ゾーン2.7ha、医療健康創成ゾーン2.9haに比べてまとまった大きなゾーンです。

山田川に沿って進み、食事処のお店が並ぶ千里丘7丁目交差点まで歩きました。ここは万博公園へつながる交差点です。「是非、東部拠点と直結する交差点にしたい」との想いが頭をよぎりました。

皆様もコンペに自分の夢を描いてみませんか。

紫金山公園計画に関する要望書と回答

前号の会長コラムと吹田市立博物館の頁で触れられた紫金山公園の計画に関する要望書と回答は前号では頁数の関係で掲載できませんでしたが、以下に掲載します。

2007年10月1日

吹田市長 阪口 善雄 様

NPO 法人すいた市民環境会議 会長
吹田自然観察会 会長

紫金山公園計画に関する要望書

はじめに

市長の思いをこめ市民参画で作られた「吹田風土記の丘・紫金山公園基本計画」一以下基本計画一は平成13年(2001年)から始まり、行政と市民団体などとの協働により計画が実施され、今年で7年目を迎えました。更に、この基本計画の進捗を見守り、効果的に遂行するための組織として、このたび2007年4月に紫金山公園運営協議会が立ち上がりました。この協議会は行政、地元自治会や環境団体、博物館を盛上げる会など幅広い委員で組織された協議会です。

基本計画を見ますと、「吹田の里ゾーン」にビジターセンターをつくる計画が以下のように記載されています。

「自然：・公園来訪者に里山や紫金山についての紹介・各種の情報提供、活動の場の提供・里山での遊び、作業、農業体験などの活動への基地 (p.96)」

「施設：・古民家を移築または復元して、ビジターセンターにする (p.96)」

また、「ソフト計画」では「市民参画によるビジター(管理)センターの運営 (p.119)」

ビジターセンターはこの基本計画に従って設置、運営されていくでしょうが、計画の実施にあたっては、ぜひとも下記事項に十分な配慮をしていただきたく思い、この要望・提言書を提出する次第です。

ご検討の上、10月末を目途に両会にご回答いただくようお願いいたします。

1. ビジターセンターは、吹田市の自然環境の保全、調査、研究、資料収集、環境教育の実践の中心となる場としての施設運営がなされることを要望します。

吹田市では、今年で9年目になる環境基本計画を施行しています。しかしこの歳月の中で、2000年から2001年にかけての「自然環境調査」を除き、自然環境についての保存、調査、研究、資料収集などの施策が行われた形跡がありません。また、この「自然環境調査」についてもその後活用するなど、施策に反映されているようには見受けられませんし、自然環境についての施策を具現化する機関・施設は少ないのが現状です。

更に、子供たちが身近な草花や昆虫などの生き物に出会える自然豊かな環境学習の場が吹田市には少ないのも現状です。

そこで、このビジターセンターに、ぜひ上記の機能を持たせていただきたく提言いたします。吹田市内でもっとも自然が豊かとされる紫金山公園にあり、博物館にも近いビジターセンターこそ自然環境の学習、普及活動をする拠点となることが期待され、環境基本計画の具現化に寄与するものと思われまます。そして地球温暖化対策が待ったなしの昨今、市民に対する環境教育の最前線にすることができるでしょう。

2. ビジターセンターの設置や運営については、紫金山公園運営協議会で協議検討してから計画を進めることを提案します。

前述しましたが、平成19年(2007年)4月に「基本計画」に基づき歴史と自然を大切にした公園づくりを目指すことを目的として、行政、地元自治会、環境団体、地元小中学校長、博物館を盛上げる会など幅広い方々が委員となって「紫金山公園運営協議会」が発足しました。

紫金山公園運営協議会では、紫金山に設置されるビジターセンターの目的や運営内容も協議対象として検討されるものと思います。

広く関係者や市民と協議しながら、ビジターセンターの具体的な運営をしていくことでビジターセンターは市民の自然に係る活動の拠点として根付き、活用されるものになると確信しております。

3. 吹田博物館に、自然系の学芸員を配置し、ビジターセンターと連携して自然環境の事業、環境教育の活動を担うことを要望します。

吹田市立博物館は、歴史博物館としての位置づけのため、自然分野の調査研究や資料収集はなされていないと聞いています。市内では貴重な自然の宝庫である紫金山公園の中にある博物館が自然分野を扱うことができないということに多くの市民が疑問を感じているところです。

これは、吹田市の博物館条例が市立博物館を歴史博物館として位置づけているため、条例の一部変更、改正をすれば博物館も業務として自然系の保存、調査、研究、資料収集など幅広い活動を実施していくことが可能になると考えます。

私たちは、速やかに条例を変更していただき、吹田市立博物館および紫金山公園ビジターセンターを活用して、吹田に残された貴重な自然状態の記録や生き物の調査研究等をし、資料収集や市民への情報提供をする等の積極的な施策の展開をしていただきたいと切望しています。それによって、歴史博物館から「市民のための総合博物館」に生まれ変わることができると思います。

19吹教地博第436号
平成19年12月10日

NPO 法人すいた市民環境会議会長様
吹田自然観察会会長様

吹田市長 阪口善雄

紫金山公園計画に関する要望書について(回答)

時下、益々ご清栄のことと存じます。平素から本市の自然環境の保全や博物館の運用に対しまして、多大なご尽力を頂戴いたしており、ここにあつく御礼を申し上げます。

さて、去る平成19年10月1日付け要望書において、ご要望いただきました件について、下記のとおり回答申し上げます。

記

1. 今回のビジターセンターのご要望につきましては、従来の構想になかった部分が含まれており、その取り扱いについては、今後、「紫金山公園運営協議会」とも意見を交わしつつ、研究してまいります。
2. ビジターセンターの計画については、ご提案のとおり、今後、「紫金山公園運営協議会」の場で十分に意見を出していただき、それをもとに検討を進めてまいります。
3. 吹田市立博物館に自然系学芸員を配置してほしいとのご要望につきましては、ビジターセンターの組織体制とも絡む課題であり、今後、ビジターセンターの計画の進捗をみつつ、研究してまいります。

「すいたの大木」マップ、冊子を編集中

生きもの委員会 平(ひら) 軍二

1. 大木調査は完了

07年2月25日にスタートした大木調査は、年末までにほぼ終了したが、その後、何ヶ所か追加調査し最終的には2月5日完了しました。一部の私有地で調査できなかった所があるため、吹田市の総面積に対する調査面積は、98%程度となっています。

残念なことに、計測後に伐採された木が約10本もありました。

2. 「すいたの大木」マップ、冊子を作成中

マップは3月末完成を目標に、B3版両面カラー刷りを予定しています。マップ表面は、吹田市全域の地図上に大木の位置を表示します。裏面にはこのマップを持って大木見学の散策をしてもらえるように、大木の多い10ヶ所について拡大地図で表示する予定です。

冊子については6月末完成予定です。調査した大木の全データを掲載すると共に、前回97年調査データと比較することなどにより、いろいろな切り口から大木の現状を分析したいと思っています。

- ①97年大木で無くなった木とその理由
- ②97年～07年の10年間の木の成長度合い
- ③新しく大木の仲間入りした木
- ④外来種と在来種
- ⑤地域別状況(町名別)
- ⑥土地利用区分別状況

(公園・学校・会社・民家等)



大木マップ編集会議(亥の子谷コミセンにて)

3. 大木の土地利用区分別結果

大木調査報告の冊子に載せるデータ集約の途中経過として、土地利用区分別結果の一部を紹介します。

大木のある場所として右表の通り、10分類してみました。最も多いのは公園・緑地で405本の大木があります。

学校	150
企業	56
民家	29
民有地	24
神社仏閣・墓地	90
住宅地	46
公共施設	52
河川堤防	31
公道緑地	45
公園緑地	405
計	928

イ) 公園・緑地

大木は市内の公園40ヶ所にあり、万博公園(117本)、千里北公園(66本)、千里南公園(40本)、中の島公園(18本)などが大木の多い地域のベストテンにも入っています。

ロ) 学校関係

150本の大木がありますが、関西大学関連の各校で87本と多くあることがその主因となっています。

幼稚園13本(内関大幼稚園6本)、小学校17本(内高野台小学校6本)、中学校24本(内第三中学校8本)、高校8本(内関大一高6本)、大学88本(内関西大学75本)となりました。

ハ) 神社仏閣・墓地

大木は90本、細分類すると神社は15社で64本、寺院は13寺で21本、墓地は5ヶ所で5本でした。

神社では垂水神社(19本)、山田伊射奈岐神社(10本)、稲荷神社(7本)、吉志部神社(6本)で5本以上が確認されましたが、寺院で5本以上は玉林寺(5本)のみでした。

4. 学校関係で残念なこと

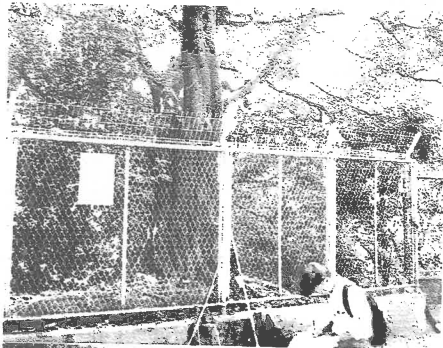
学校関係で残念なことは、計測時にあった大木がその後切られた事例が多かったことです。

既に、高野台小学校でクスノキの大木3本が、配水管を破損したとの理由で、調査日に伐採されていたことは報告済みですが、今年になっての追加調査で次の2ヶ所の大木も伐採されました。

イ) 関西大学幼稚園のアラカシ

関西大学の南側(山手町)で、阪急関大前駅南口を出て、付属幼稚園の裏を通り関西大学会館や100周年記念会館に行く場合、標高差20mほどの急坂で階段を上る必要があります。

昨年末より、エスカレーター新設工事がおこなわれています。関大幼稚園裏側にあったアラカシ1本(幹周り206cm)が無くなっています。また、関西大学にはこの他にも工事がおこなわれていて、大木が無くならないか懸念しています。

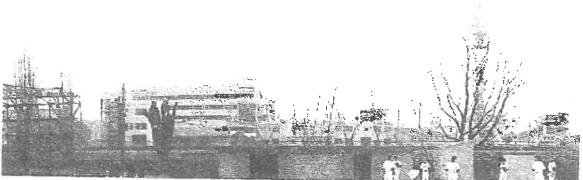
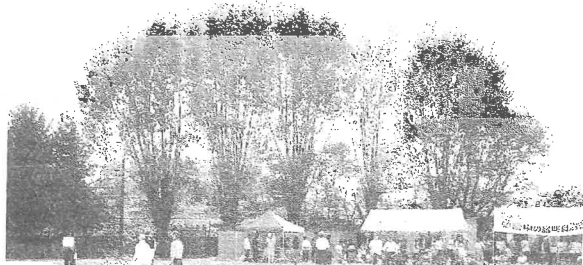


上段: 工事で伐採されたアラカシ(07年9月)

下段: 関大エスカレーター工事中(08年2月)

ロ) 第三中学校のポプラ

グラウンドの南側、安威川沿いにポプラの大木が5本並んでいました。このうち4本が2月に伐採されました



上段: 地区体育祭の日に(07年10月)

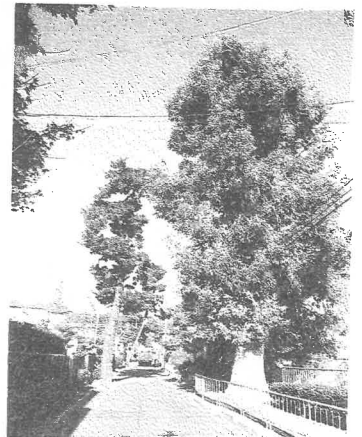
下段: ポプラ伐採後(08年02月)

5. 吉志部神社参道ユーカリの樹齢は?

吉志部神社参道には幹周り336cm(直径約1m)のユーカリの大木があります。

「岸部第一小学校100周年記念誌」に、明治28年(1895年、113年前)に新築された岸部尋常小学校の写真があり、左側にマツの木、右側にユーカリと推定されるかなり大きな木が写っています。

この小学校は吉志部神社の参道にある村田さんの土地に作ったとの説明があります。しかも写っている児童と比較すると、植えられてから20~30年かと思われますので、もしこの木であれば、樹齢130~140年となります。しかし、ユーカリは成長の早い木であり、直径1mの大木になるのに100年かからないと予想されるので、現在のユーカリが明治時代からあったかどうか、疑問が残ります。



また、その後の聞き取りで、現在のユーカリは昭和の初めに岸部尋常小学校を卒業された方が植えられたとの言い伝えもあるとのこと。

明治生まれか、昭和生まれか、このユーカリのエピソードを集めたいと思います。ご存知の方がおられましたら情報をお寄せ下さい。

平 軍二(ひらぐんじ) TEL 06-6877-0648

今回の大木調査は多くの方々のご協力を得て、いろんな大木と出会い、学び、楽しみ、感動することができました。

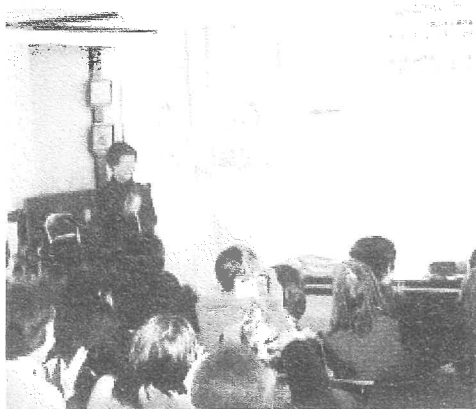
本年6月末にはマップと冊子を皆さんにお届けできる予定です。マップを見ながら、吹田市内の大木に触れて頂きたいと思います。その結果、大木は末代まで残すべき自然遺産であることを認識し、大木を守ろうという人々の輪が広がることを期待しています。

「さんさんソーラー」 点灯式・学習会 開催

1月28日(月)茨木市清水の千里山生協本部(注)の屋根に設置された「さんさんソーラー」の点灯式が行われ、環境会議から小田会長はじめ理事3人が出席しました。

立命館大学特別招聘教授・工学博士和田武さんの記念講演「地球環境問題と自然エネルギー～市民の役割を考える～」があり、この太陽光発電設置のように、市民が今すぐ具体的な行動を起こすことの大切さを語られました。

点灯しました！



「みんなで作った太陽光発電。未来に向けての私たちのアクションの一つです。」と小田会長。



講演内容から

《地球環境の不可逆的破壊》

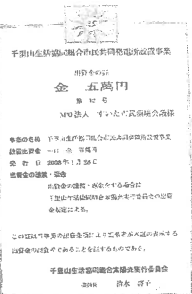
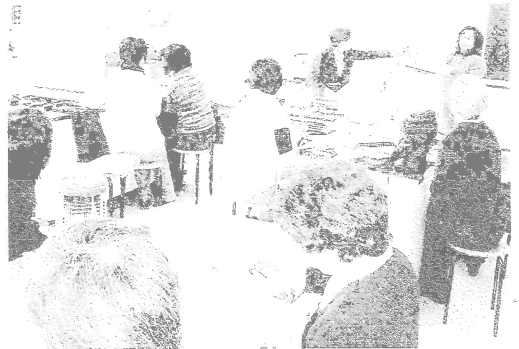
- ・海洋循環(熱塩循環)速度の遅延化による気候激変
- ・グリーンランドや南極大陸の氷床の大規模崩壊
- ・CO2増加がもたらす海洋pH低下による海洋生態系の崩壊
- ・生態系の破壊による炭素循環崩壊による温暖化加速
- ・永久凍土地帯融解によるCO2やメタン放出による温暖化加速
- ・深海のメタンハイドレートの噴出による焦熱地球への変化

これらの現象がおこると回復は不可能。
これを回避することは至上命題である。

2月18日(月)には山田地区公民館と本部で組合員対象の学習会が開催されました。学習会の講師は環境会議の小田理事が務めました。

山田地区公民館には吹田南地区の組合員さんたち17人が参加。本部には吹田北・豊中・箕面・茨木・高槻南地区の組合員さんたち58人が参加しました。小田理事は、地球温暖化の観点から設置の意味と市民の責任を考え、アクションを起こそうと述べました。

吹田北の組合員さんは環境マネジメントとして生協が実施した「夏の省エネ大作戦」やアジェンダ21の実施した「CO2ダイエット」に参加した人も多く、家庭内CO2の最大発生源は何か、省エネの取り組みから今後の展開としての効率的なエネルギーの使い方、家の断熱などについて質問がありました。また、温暖化と「食」の問題、温暖化と病気の問題などについても、活発な意見交換がおこなわれました。



出資金が返金されました

千里山生協は3月21日の他生協との合併により、「生活クラブ生協大阪」となりました。それに伴って実行委員会が解散となり、出資金返金を実施されました。カンパ活動は新しい組織で継続実施される予定です。

「さんさんソーラー」は10.5kWのシステム。発電量累計はすでに2,000kWhを超えました。

◀環境会議が出資したことを示す「出資金の証」

「千里山生協ってどこにあるの？」こんな声が寄せられました。説明不足をお詫びします。発祥の地「千里山」を冠した生協ですが、現在は彩都に近い大阪モノレール豊川駅の北東、茨木市清水1丁目にあります。新しい市民共同発電所「さんさんソーラー」はこの千里山生協本部(現「生活クラブ生協大阪」本部)に設置されたのです。

ことしはみどりのカーテンで涼しく過ごそう

2007 年度取り組み結果

大阪府の環境保全活動補助金からこのみどりのカーテン事業に経費の半額補助を受けました。ゴーヤやフウセンカズラ、ヒョウタン、朝顔などの植物を植えてもらい、カーテンの内側とカーテンの無いところの温度を測定してもらいました。



結果

- ・晴天時、みどりのカーテンの陰は平均 3.7℃涼しくなっています。(曇りの時は温度差はほとんどありません)
- ・なかには 10℃も差が出たこともありました。
- ・植物の葉の茂り具合でも温度差がでますが、みどりのカーテンがあると確実に涼しい感覚を楽しむことができます。
- ・午後 1 時～3 時ころが最も差が大きい時間帯です

 8/11 14:00 快晴 気温 35.1℃ (木陰 34.5℃)
 アスファルトの路面温度 58.2℃
 モルタル壁面(直射日光下) 41.6℃
 ゴーヤ葉面(直射日光下) 41.2℃
 ゴーヤ葉裏面 38.8℃

今年もみどりのカーテン

今年こそみどりのカーテン

ベランダでもできます、みどりのカーテン。

- ①大きめのプランター、野菜の土、底石、肥料、支柱、ネット(10cm 四方の網目)を用意しましょう。肥料はボカシを使うと肥料焼けを起こしにくいようです。ネットは上の方がピンと張るようにしっかりと固定します。張り、固定が弱いと実がなるとネットが上から垂れてきて見苦しくなります。
- ②苗を用意します。本葉が 5～6 枚の頃が植え替え適期です。プランターに植えると水の管理と追肥が大切です。水は朝晩しっかりとやりましょう。肥料は 1～2 回/月やります。
- ③花が咲き、実がなるのが楽しみです。

ゴーヤが一番人気!



感想

- ・夏の西日対策にはもってこいです。
- ・よしずより色もキレイ、光が透けて入り、気持ちまでなごみました。入ってくる風までクリーンな様な気がします。
- ・窓のガラスに映ったゴーヤの葉っぱがとても涼しく見えていました。
- ・細い茎に太いゴーヤがブラブラ下がるのに驚き、また楽しいものだ。
- ・なにより嬉しかったのは実ったゴーヤをこころゆくまで味わうことができたことです。

今後の「みどりのカーテン講座」予定

4/20 (日) 14:00~	アジェンダ 21 すいた「みどりのカーテン講座」(協力)	メイシアター集会室
5/25 (日) 13:00~	東山田公民館講座 (予定)	東山田地区公民館
6/7 (土) 10:00~	東佐井寺公民館講座(予定)	東佐井寺地区公民館
6/21 (土) 10:00~	「すいた環境教育フェア 2008」	メイシアター

南千里コース

2008年3月15日 まちなみ委員 岡村昇二

私が案内役を務め、総勢13名で天候に恵まれた早春の楽しい散策でした。コースは、公園、街路樹、緑地などが続き、緑に恵まれたところです。「あルック吹田」のコースをすこし外れて、今話題のスポットを訪れ、下記のコースを歩きました。

阪急南千里駅→千里南公園→津雲公園（まちづくり市民塾・水辺塾の活動場所）→
あやめ橋（記念植樹募集のあやめ橋緑地を望む）→
高町池→水路沿いの緑道（ヒメボタルの生息する千里第4緑地）→
西山田第2公園（ホームレス中学生で話題の通称「まきふん公園」）→
高野台スポーツランド（万博公園の東にごみ焼却場が建設される前の候補地）→
高野台3丁目住宅街→高野台2丁目住宅街→ガーデンモール南千里→阪急南千里駅

千里南公園や千里緑地のヒメボタルなど定番の説明は本紙では省略し、今回の特筆すべきポイント3点を紹介します。

1. 津雲公園

かつての子供たちの賑わいを取り戻し、愉しく集える公園にしようと「千里津雲公園を守ろう会」と「吹田市まちづくり市民塾・水辺塾」が公園整備を始めている公園です。

津雲公園に人工の流れがあり、その最上流にビオトープを造ろうと、水辺塾・塾長の彦坂さんをはじめ、塾生と近くの保育所の園児とそのパパ、ママの皆さん十数人が長靴姿で作業をしている最中でした。「花を植え、メダカを飼い、トンボを呼び、ホタルも見たいという夢を見ながら活動している」と彦坂さんから説明を受けました。



2. あやめ橋緑地

あやめ橋の下、線路と道路に挟まれた細長い空地が、仮称「あやめ橋緑地」として現在整備の途上ですが、吹田市は「人生節目の記念に桜を植え

てみませんか」と1本3万5千円の寄付を市民に呼びかけ、26本の目標に達したとのこと。現在、園内通路の形が見え、既に何本かの若木が植えられています。桜並木が完成すると、橋上からはもちろん、並行する道路や電車からもよく見え、楽しいスポットになるでしょう。

3. 西山田第2公園（通称まきふん公園）

西山田団地のショッピングゾーンと隣り合ったこの小さな公園は、いま全国的な話題になっています。吉本興業の若手漫才・麒麟の田村裕君が自らの体験を書いた「ホームレス中学生」が200万部を突破するベストセラーとなっていますが、主人公の田村少年がホームレスをしたのがこの公園です。巻き貝型のすべり台があり、当時黄色に塗られ、巻いた糞に見えたので「まきふん公園」と呼ばれています。

差し押さえのため家を失い、父親の「解散」の宣言で少年は姉とも別れ、ひとりでのこの「まきふんのすべり台」をねぐらにして公園暮らしが始まったのです。鳩のために撒かれたパン屑を横取りして飢えをしのいだとのことでした。亡くなった母への想いも綴られ、一気に引き込まれる本です。



散策会参加者とすべり台

~~~~ 古江台中学校 その後 ~~~~

市民共同発電所は元気です！

全国学校ビオトープ2007で銀賞を受賞！

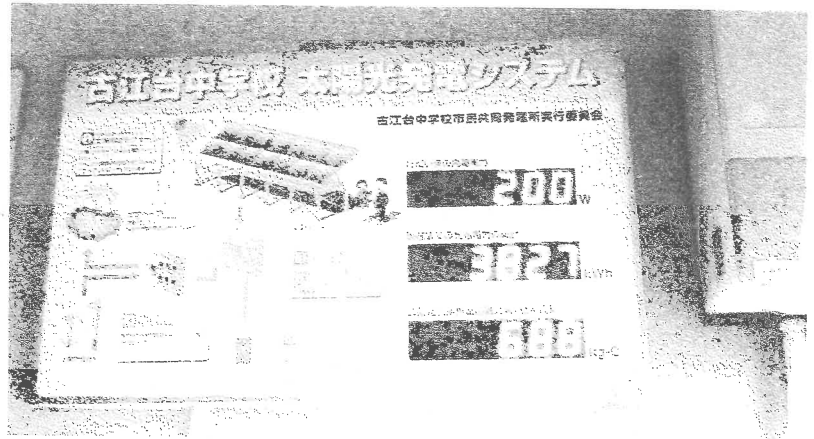
理事 具志堅 葉子 (大阪自然環境保全協会会員)

多くの市民の寄付で2006年2月に稼動した古江台中学校市民共同発電所は元気に発電しています。

(2008.1.15現在 発電累計3827kwh)

この古江台中学校に嬉しいニュースが飛び込んできました。

2月10日、財団法人日本生態系協会の「全国学校ビオトープ・コンクール2007」で銀賞を受賞しました。古江台中学校の三戸校長先生から次のお礼のメールを頂きましたのでご披露します。



古江台中学校市民共同発電所 発電システム表示板

このような賞をいただくことになりましたのも、すいた市民環境会議の皆様のお陰と感謝しています。審査の調査にこられた方々も、ビオトープの池は無論のこと、ソーラーパネルや校内の様々な環境をご覧になり、「学校全体がビオトープですね」と言ってくださいました。

子どもたちのために、いろいろご尽力をいただき、本当にありがとうございました。すいた市民環境会議の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました



古江台中学校に贈られた賞状

このビオトープづくりでは(社)大阪自然環境保全協会が全面的に参画されました。

そのビオトープの水循環ポンプの電源として、すいた市民環境会議などが太陽光発電装置を設置したのです。

太陽光発電装置は単にビオトープの水循環の発電のみならず、非常時にも役立つことを想定しています。今回の受賞にあたって、すいた市民環境会議は地域教育協議会、DIOS北千里商店会そして古江台中学校の生徒やPTAのみなさんと一っしょに参画できたことを喜んでいます。

第9回 通常総会のご案内

日時：6月22日（日）午後2時から

場所：市民会館（予定）

総会后、近くで懇親会をおこないます（会費3,000円程度）。詳細は検討中です。

なお、総会資料は5月末に発送予定の会報57号に同封致します。

問合せ先：事務局 中村 TEL 090-8375-0647 FAX 06-6386-9491

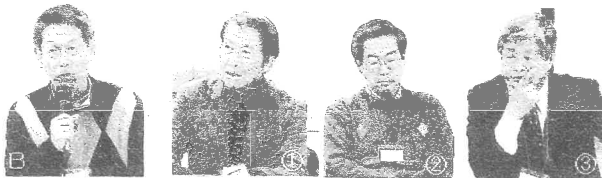
OPEN市民セミナー2007

「市民環境会議大集合！」報告

副会長 高島耕一郎



3月8日（土）午後6時30分より大阪駅前第2ビルにある大阪市立総合生涯学習センター第2教室で大阪府民環境会議（OPEN）主催のOPEN市民セミナー2007「市民環境会議大集合！」が開催されました。大阪府民環境会議理事長の小原さん（写真左）の挨拶に続き、下記7つの市民環境会議の代表が参加してパネルディスカッションがありました。テーマは「環境市民団体の活動における可能性とその課題」。その司会を私（写真下B）が務めました。



- ①きしわだ環境市民会議 相良さん
- ②東大阪市民環境会議 阿蘇さん
- ③ひらかた環境ネットワーク会議 谷崎さん



- ④とよなか市民環境会議アジェンダ21 井上さん
- ⑤すいた市民環境会議 小田会長
- ⑥市民環境ネット・せつつ 北川さん
- ⑦たかつき環境市民会議 相良さん

同じ環境会議を名乗っていても、行政との関係、予算額などピンからキリまでであることがわかりました。しかし共通の問題に取り組む下地ができたように思いました。取りあえず、市民環境会議を結ぶメーリングリストを立ち上げ、情報交換を行うことを決めました。

<まちなみ委員会より>

- ・「あろっく吹田」散策会は4月、5月はお休みします。リーダーが浜屋敷で開催される「吹田まち案内人」養成講座の講師やリーダーを兼ねているためです。同講座では6回の講義と12回の実地研修がおこなわれます。（市報すいた3月1日号参照）
- ・浜屋敷の「吹田まち案内人」制度は大きく育ちつつあります。地区公民館主催散策会のガイド受託や自主散策会の企画をはじめています。
- ・吹田市の平成20年度新規採用職員研修に「先輩と歩く」カリキュラムが取り上げられ、吹田まち案内人が「あろっく吹田」の旧吹田村コースと旧山田村コースを案内します。
- ・まちなみ委員会は、これらのことを踏まえ、浜屋敷などの他団体とは異なる視点からの取組みを検討しています。
- ・「あろっく吹田」の改定（2008年版）に協力しました。「旧山田村コース」と「旧岸部村コース」のコースを見直ししています。4月上旬から市役所のまちにぎわい創造室で受け取れます。

まちなみ委員会 松岡要三